

裏金政治を終わらせよう 希望と未来ひらく 政治へチェンジ

裏金政治を大掃除しましょう。日本共産党は「企業献金禁止」を一貫して求めてきました。カネで動く政治から、国民の願いがまっすぐ届き、暮らしを支えるあたりまえの政治へ。一緒に変えましょう。



高田よしののHP

私も推薦します

- 雨松 康之
元兵庫県高等学校教職員組合委員長
- 岩崎八千子
明石市の小学校給食の無償を求める会代表
- 榎林 義雄
榎林歯科院長
- 川西マサ子
新日本婦人の会前津支部長
- 田中耕太郎
明石連合まちづくり協議会会長
- 仲野 明
淡路民主商工会会長

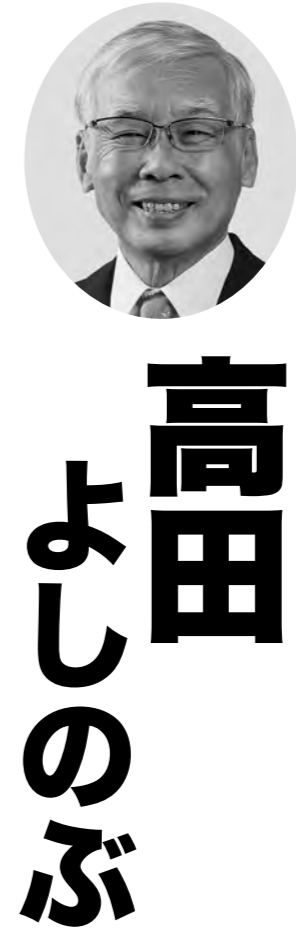
比例代表は **日本共産党**

とお書きください

高田よしののお約束

- いのち・暮らし・地域を大切に
中小企業支援し、最賃時給1500円に、労働時間を1日7時間、週35時間に
消費税はゼロ、直ちに5%に引き下げる
学費を半減、入学金ゼロ、給付型奨学金制度、給食費を無償に
物価高騰に合わせ年金引上げ、医療・介護を充実
農漁業を基幹産業に、地域産業を振興
- 憲法9条を生かした平和外交を
アセアンと協力し対話による外交で紛争を解決
「5年間で43兆円」の大軍拡ストップ
核兵器禁止条約を批准
- 気候危機シエンダー平等
石炭火力・原発ゼロ。省エネ、再エネでCO₂削減
避難所や道路整備など災害対策を充実
選択的夫婦別姓実現、男女賃金格差是正、DV、ハラスメント根絶を
女性の政治参加をすすめる
- 人間の自由が豊かに花ひらく社会へ
「利潤第一」の格差・貧困の社会から、お金や物の豊かさだけでなく、「自由な時間」を持ち、一人ひとりが豊かに花ひらく社会をめざす

プロフィール 1946年淡路市生まれ、大阪府立大学(現大阪公立大学)卒、兵庫県改良普及員、県立淡路農業高校教員、党淡路地区委員長



令和6年
10月27日

衆議院小選挙区選出議員選挙
公報

兵庫県第九区

発行者

兵庫県選挙管理委員会

クリーンな政治で未来を拓く。さあ、始めよう!

国交省出身
まちづくりの専門家
京大卒

加古きいちろ 五つの信条

- 一、気合い情熱そして夢
- 一、責任全う・信頼醸成
- 一、迅速機敏・臨機応変
- 一、有言実行・積極果敢
- 一、自立協働・交流拡大

詳しい政策はこちら
加古きいちろ 公式ホームページ
https://kako-kichiro.amebaownd.com

01 福祉改革

「播磨・淡路地域」を、先進的福祉政策実行「一丁目一番地」とし、全国の福祉政策を牽引する。

02 教育改革

誰もが平等にチャレンジできる社会を実現するため、教育の無償を憲法に位置付ける。

03 地域経済改革

「環播磨灘五地域連携都市圏」を世界に冠たる長期滞在型リゾート地域に育て上げる。

04 インフラ改革

公共事業の縦割りを排除し、横断的、包括的に最適化する
政官業の構造改革を実現する。

Kiichiro POLICY きいちろ5策



05 統治機構改革

「関西州構想」を打ち出すとともに実現のための特別立法措置を行う。

日本維新の会

比例代表は「維新」または「日本維新の会」へ

加古きいちろ プロフィール

- 昭和三十八年 兵庫県姫路市生まれ
- 姫路西高等学校・京都大学工学部建築学科卒業
- 昭和六十年 建設省(現国土交通省)入省
埼玉県与野市(現さいたま市中央区)理事
建設大臣官房 技術調査官
兵庫県 県土整備部まちづくり局 住宅整備課長
国土交通省 総合政策局政策課 政策企画官
国土交通省 住宅局 木造住宅振興室長
UR都市機構 全国まちづくり支援室長代理などを歴任
- 令和五年 政治家を志し国土交通省を退職

本業の傍らシンガーソングライター「きいちろ」としてCDデビュー



日本維新の会
公認

加古
きいちろ
かこ

裏金政治をやめて 国民のための政治へ!

裏金 NO!

政治を チェンジ!

師である泉房穂氏の政策を国政へ展開! 暮らしをさらなる好循環へ!

生活者の視点を常に大切に!

教育の無償化・教育内容・環境の充実

食料品の非課税など消費税減税で経済の活性化

高齢者・障害者福祉の充実、年金UP!

体力、気力に自信あり! 市民目線の議員として
全力で働きます!

比例代表は
立憲民主党へ!

プロフィール

35歳/元県会議員/慶應義塾大学卒業
元地方公務員/明石市在住/4児の父(1才、8才、10才、12才)
サッカー-社会人チーム所属/マラソン(ハーフ10回、フル5回)完走



橋本
はしもと

再始動へ 初心にかえり ゼロからきちんと

兵庫県第九区(明石・淡路島)
西村やすとし プロフィール

元 経済産業大臣、
元 コロナ・経済再生担当大臣

- 昭和37年10月15日生まれ。B型。明石・東仲ノ町の大崎時計店の孫、サラリーマンの長男として、二見の市営住宅に育つ。
- 母は明石商業高校卒業(1回生)、叔父は県立明石高校卒業。祖母は淡路島出身。
- 神戸大学附属明石中、灘高、東大法学部、米国メリーランド大学公共政策大学院卒業。中学では陸上部、高校では野球部、大学ではボクシング部で活躍。
- 平成11年通産省調査官を最後に退官、15年初当選、令和3年7期目当選。
- 平成21年自民党総裁選に立候補。外務大臣政務官、内閣官房副官長など経験。
- 【議連等】インド、サウジアラビア、オマーン、ペルー会長、アフリカ会長代行。
- 【その他】兵庫県土地改良事業団体連合会会長、日本ボクシング連盟最高顧問等。
- 趣味: マラソン、秘境巡り、映画、俳句、茶道、写真等。
- 妻と3人娘の5人家族。

希望と誇りあふれる日本に。明石と淡路の未来のために。

① 積極財政により所得向上

●政府が積極的に投資・支出すること(積極財政)を呼び水として、民間の積極的な投資を引き出し、経済成長と所得向上を実現(2035年頃までに所得倍増)、最低賃金2000円を目指す。

② 地方に良質な雇用を創出~令和の列島改造~

- 半導体(材料も)、電池、ロボット、データセンターを立地。
- 中小企業の技術力・生産性向上を支援し、価格転嫁を徹底。
- 大胆な資金支援などスタートアップ支援の拡充。
- 再生産・持続可能な農業・漁業支援を推進。国産化を推進し、食糧自給率を向上。農水産物の輸出拡大。
- 世界に誇る明石・淡路の農水産物・美食を一層ブランド化、販路を拡大し、観光振興。
- 無人の自動運転バス・タクシーを早期に実現、地方の足を確保。
- 都市部人材の地方への移住定着を促進。二地域居住・テレワーク・兼業副業等を容易にする社会制度・環境を実現。
- 地域に関係する方々の輪を広げ、NPOなど多様な主体によるソーシャルインパクトボンド(社会投資債)なども活用した共創の取組みを推進。

③ 子育て支援拡大、安心の社会保障制度確立

~若者に夢とチャンス、高齢者・障がい者に安心を~
●教育無償化を拡大・返済不要の奨学金を拡充、教育

④ 生活を守る総合安全保障

(外交・安全、エネルギー、食料、経済、国土)

- 基本的人権、民主主義、法の支配という価値観を共有する国々(米・欧・豪・印など)との連携を強化、「自由で開かれたインド太平洋」の推進により、安全保障を強化。
- 反撃能力・情報収集能力を装備、強化、拉致問題の早期解決。
- 機微な技術の流出を防ぎ、知的財産を管理。中東・中南米・アフリカなど重要戦略物資のサプライチェーンを確保し、経済安全保障を確立。
- 原発と日本発の技術・材料の再エネを最大限に活用。

⑤ 政治資金の透明化・厳罰化

- 今回の事業を機に、二度と間違いないよう、きちんと取り組みます。
- 政治資金について、透明化、法令遵守の徹底、第三者の監視、厳罰化などに取り組みます。公開できない資金は廃止します。

○今回の事業では、私の事務所では、全額を政治資金の収入として記載していません。したがって、「不記載」や「裏金」「個人の所得」「脱税」などは、一切ありません。なお、記載の仕方の誤りについては、所要の修正をおこないました。
○また、旧清和会の幹部としても、「還付」を指示したり、了承したことは一切ありません。
○しかしながら、幹部としての責任を取り、経産大臣を辞任し、党の(いわば)謹慎処分を真摯に受け止め、反省の上立ち、初心にかえり、謙虚に地道に活動してまいります。



元 経済産業大臣、元 コロナ担当大臣
自民党明石・淡路島地域支部推薦公明党推薦
西村やすとし

【投票日】10月27日(日)

投票時間 午前7時～午後8時
(一部の地域では、時間の変更があります。)

投票用紙には…

小選挙区選挙 (うすい青色の用紙) …候補者名

比例代表選挙 (ピンク色の用紙) …衆議院名簿届出政党等の名称もしくは略称を記入してください。

※候補者の氏又は名のみ、あるいは政党等の略称を記載した場合、同一の氏・名・略称の候補者や政党等があれば、公職選挙法の規定により、その候補者・政党の他の有効投票数に比例して按分することとなります。

投票しやすくなっています。

- 午後8時まで投票できます。
- 18歳未満の方を同伴して投票所に入ることができます。
- 体のご不自由な方は、付添いの方と一緒に投票所に入ることができます。
- 投票日当日に投票に行けない場合、10月26日(土)まで期日前投票ができます。
- 午前8時30分から午後8時まで行えます。(一部の投票所では、時間の変更があります。)
- 投票所入場券がなくても投票することができます。
(詳しくは、最寄りの市区町選挙管理委員会におたずねください。)

アンケートにご協力をお願いします。

- 県選挙管理委員会では、選挙公報が有権者の皆様に適正に配布されていることを確認するため、簡単なアンケートを実施させていただいています。
- ご協力いただける方は、右下の二次元コードを読み取っていただき、表示される「選挙公報到達確認アンケートフォーム」にて、①住所(〇〇市〇〇町〇丁目程度まで。地番等の入力不要)と、②選挙公報が届いた日を入力してください。
- 県選管サイト
(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/si01/senkyo/2024senkyo/syugiin.html>)
からもリンクを行っていただきますので、そちらから入力いただくことも可能です。



この選挙公報は、一部の地域では新聞折込みによってお配りしています。万一、他の選挙区に配達された場合はおまちがいにならないようご注意ください。